



# 小田原城北 ロータリークラブ

## 例会場及事務所

毎週 火曜 12時30分  
〒250-0211  
小田原市鬼柳172-9  
小田原卸センター内会議室  
TEL 0465-37-1222  
FAX 0465-37-7377  
http://www.odawarajhrc.jp  
E-MAIL :info@odawarajhrc.jp



会 長 中村 維孝 幹 事 竹村堅一郎  
副 会 長 露木 清勝 副 幹 事 金山 慶昭  
クラブ会報委員会 志澤 昌彦委員長

DISTRICT No.2780 KANAGAWA JAPAN

## BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS 地域を育み、大陸をつなぐ

### 第1671回

点 鐘 中村 維孝会長  
司 会 金山 慶昭副幹事  
斉 唱 「手に手つないで」

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
8月31日	53(47)	41	1	89.36%
8月24日	53(47)	41	3	93.62%
8月17日	53(47)	36	3	82.98%

【出席報告】菊地 義雄委員

【欠席者】 6名（順不同・敬称略）

大谷 宏・露木 清勝・所 真人・木村 啓滋  
内山 修一・佐須 智明

【今回メーキャップ】

大谷 宏（R財団セミナー）

【ビジター】

井上 三郎様（小田原RC）

《慶事祝福》

【誕生日】

杉崎 勝成さん(9月2日)

所 真人さん(9月2日)

【奥様誕生日】

中村 弘美様(9月3日)



### 2010年8月31日(晴)第1515号

本のロータリーを作るときに日本文に訳されたもので、この訳がおかしいのではないかとことです。

改めて見てみますと、「ロータリーの綱領」には次の通り書かれています。ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにあります。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

この「ロータリーの綱領」は、皆様もご存知の通り、ロータリークラブ定款の第4条であります。定款は私たちの経営する会社や法人にもあるわけで、法人を設立し登記する時には必ずこの定款の提出を求められます。つまり、その法人は、どこで誰が何をしようとしているかが判るようになっているわけです。そう考えますと、ロータリーの綱領も、とても重要な問題で、簡単に変更したり、改編することに慎重でなければなりません。なぜなら私たちの活動によって立つ原点だからです。しかし、問題は、翻訳ということ。原典は同じでも、訳し方により、解釈が変わってきてしまうという事にあるようです。この問題を解決するため、ガバナー協議会内に綱領等翻訳問題を調査する小委員会の設置が決まり、2009年11月より活動が始まったようです。先ほどのアンケートには、設問1：過去にクラブ内で綱領に関して指導、教育、検討がなされたか？設問2：綱領に関してどう取り組んできたか？設問3：綱領の現行和訳にどのような意見があるか？設問4：和訳の現行和訳が必要か否か？とあります。さらに長年多くのロータリアンから寄せられている修正案が具体的に示されて、どう思うかを問われています。正直英語力のない私には荷が重過ぎます。しかしロータリーの将来を考えたときに、もう少しわかりやすく、平易な

今年、小田原城北ロータリークラブは創立35周年です。

#### 歴代会長



第1期 1975~1976 (※S51.4.2~S51.6.30)

会 長 堀内 晴章

R.I会 長 エルネスト・インバツサイ・デ・モ

ターゲット 「人間に威信を」

ガバナー 上野 豊(横浜)

分区代理 小沢 新太郎(湯河原南)

### 会 長 挨 拶

中村 維孝会長

先日地区から「綱領」翻訳問題についてのアンケート調査がありました。この問題は、綱領の内容がわかりにくい。つまり、もともとの綱領は英文で書かれていたものが、日

言葉で、誰でもが理解できるように出来たらよいのでは  
とは思いますが、皆様はどうお思いになるでしょうか。

## 幹事報告

竹村 堅一郎幹事

- ①先週配布致しました、5人グループの連絡表は、緊急時の連絡用で通常の連絡は従来通りFAXにて通知致します。菊地さんの携帯Noが間違っておりました。後日、訂正版を配布致します。
- ②暑い日が続いております。会場監督よりクールビズを9月末日まで延長するとの事です。
- ③阿部会員のお父様が7月29日に御逝去されました。葬儀は山梨県小淵沢の円通寺にて8月24日に営まれました。遠方という事で会員の皆様にはお知らせしませんでした。四十九日の法要は正應寺にて9月12日にとりおこなうそうで、会長、幹事で出席させていただきます。

## 例会日程変更のお知らせ

- 小田原RC 9月20日(月) 敬老の日…休日休会
- 小田原中RC 9月23日(木) 秋分の日…休日休会
- 小田原北RC 9月29日(水)…休会
- 小田原城北RC 9月21日(火)…休会

## 委員会報告

クラブ会報委員会 志澤 昌彦委員長

会報の今後予定に修正があります。

雑誌・広報渉外委員会 馬場孝一委員長

ガバナー月信に城北RACの活動が掲載されています。

会員名簿修正等がなかったのでHPに掲載します。

## ニコニコ箱

大木 清委員

井上 三郎様(小田原RC) 毎度、お世話になります。

杉崎 勝成さん 誕生日のお祝いありがとうございます。

58才になります。今後共よろしく願います。

一寸木 信雄さん 妻の誕生日にきれいな花をいただきありがとうございます。

土岐 博也さん・志澤 昌彦さん 加藤先生には、小田高山岳部の顧問として大変お世話になりました。本日の卓話楽しみにしています。

杉本 博愛さん クラブのゴルフコンペに久しぶりに参加しました。ハンディキャップがたくさんあったので、3位になり賞品をいただきました。

阿部 一顕さん 納涼懇親会欠席ですみませんでした。

杉山 市好さん 同好会ゴルフコンペで同組の石崎さん、中野さんのおかげで優勝できました。

鈕持 悟さん 日本の文化遺産である能楽の勉強を加藤先生から講義を受けます。よろしく。

中村 維孝さん ①本日の卓話、加藤先生のお話し、楽しみにしています。よろしく願います。

②今年度第1回ゴルフ同好会、暑い中大勢の皆様にご参加いただき楽しい一日でした。ドラコン2つ、ニアピン1つ、フォーカスまでいただき、盆と正月が一緒に来たようでした。ちなみに順位はブービーと下から2番目でした。

③土曜日、大腸の検査と胃カメラの検査に行ってきた。会長職のストレスでポロポロかと思いましたが、なんとありませんでした。

井上 寛さん 2週続けてホームクラブを欠席しました。

今日の箱根(夜間例会)、明日の小田原北RCで公式訪問が半分終わります。それぞれクラブに独特の雰囲気があり、クラブ訪問を楽しんでいます。

## 卓話

### 「能、世阿弥の教え」

加藤 克美様



能楽学会で「能は演劇か?」という話が出て、討議に加わったことがある。能は演劇の一部であることは確かであるが難しい問題である。普通の演劇には舞台に幕があるが、能の舞台には幕がない。舞台脇の口から人が出入りすることで劇が始まったり

終わったりし、演劇とは構造が異なる。道成寺の釣鐘をつる場合、普通の芝居だと幕を下ろすが、能は観衆の見える前で行う。また主役が能面を使用する意義であるが、能面をつけることで異次元の世界に入ることである。女面をつけると男が女に変身する。亡くなった人の面をつけると生きている人ではなくなる。鬼面をかぶると心の葛藤をあらわす鬼になる。演出での違いについては、演劇では主役と脇役の対立等で物語が進行する。「現在能」ではこのようなことがあるが、「夢幻能」は対立者のいないシテ=超現実的存在の主人公の一人劇である。ワキはシテの行動を引き出す役割があるが、ほぼ傍観者的な役割のみである。源義経の屋島の戦いでは亡霊が現れる等あるが一人劇である。ワキの僧侶はずっと座ったままで最後にお経を拜んで終わりになるのでラクそうに思われ、江戸時代の川柳では「ワキ僧は煙草盆でもほしく見え」と詠まれた。演劇でも夢幻能のような演出をするものも出てきたが、これは能の特有な演出方法であるといつてよい。

このような特殊な演出である夢幻能を考案したのは世阿弥といわれている。世阿弥の言葉に「初心」がある。世阿弥の「初心」について沢山の伝承があるが、発見されたのは明治41年頃の吉田東吾による。世阿弥が38歳で書いた「風姿花伝」の中に「初心」がはじめて出てくる。年齢によってどのような稽古をすれば能の成功者になれるかを記載した「年来稽古条々」の24、5歳の箇所「このころ一期の定まるはじめなり。すは、上手出て来たりとて、人も目に立つるなり。まことの花にあらず。見る人の一旦の心の珍しき花なり。初心と申すは、この頃のことなり。よくよく心得べし」と書いてある。よく「初心に帰る」と言われているが、これは世阿弥の言葉ではない。世阿弥は初心をどう考えたかということ、「是非初心不可忘 時々初心不可忘 老後初心不可忘」の3つを説いた。

初心不可忘を実践した人として、松山バレーの森下洋子さんがテレビの取材で「今日終わったらそれをもとに明日に備えよ。毎日毎日を積み重ねていくことの大切さ」という話をしていた。これこそ初心不可忘であると思った。また、能楽師の故観世栄夫の話があるので最後にこれを紹介する。若い時は1m飛び上がったのが年を取ると50cmしか飛ばず、飛び上がる以上の技を75歳で初めて考えなければならぬ。これが世阿弥のいう老後の初心である。

次回9月14日は「新世代フォーラム(新世代奉仕委員会)」です。